

Fashionable Technologyの最新動向

上岡玲子^{*1}

The Latest Topic on Fashionable Technology; The book review of “Fashionable Technology”

Ryoko Ueoka^{*1}

Abstract - This paper describes the recently published book “Fashionable Technology” from Springer publishing. way how to write your manuscript for Correspondences of Human Interface Society.

Keywords : wearable computer, fashionable technology

1. はじめに

本講演では、2009年にSpringerより出版された「Fashionable Technology」^[1]についての書評を中心にファッションと技術の融合研究の動向を紹介しながら、ウェアラブルコンピュータの動向について議論する。近年コンピュータの小型化やテキスタイルの高機能化によりファッション性と機能性を持つウェアラブルコンピュータが注目され、新しい表現媒体としてアート、ファッションデザインの分野からも機能するファッションとして注目されている。ファッションデザイナーは時代背景やその時々の人々の関心をダイレクトに感じ取り、それを作品として表現している。その作品は時に芸術作品と同様にコンセプチュアルであり時代のエッジを敏感にとらえたものである。それゆえ、人々の共感を得る事ができ、その時代の流行を作り出すと考えられる。^[2]ここで紹介する書籍には芸術作品からインタラクティブ作品など様々な機能を持つ衣服の紹介がされている。

2. Fashionable Technology概要

2.1 目次

Fashionable Technologyの構成は以下の通りである。

- Theoretical Discourse
- Electronic Fashion
- Interactive Interface
- Scientific Couture
- Sensual Being & Tangible Touch
- Wearable Explorations
- Social Fabric
- Sonic Landscape
- Material Witness

その他にFashionable Technologyを自作するための導電性糸、太陽電池など必要な素材の購入サイトやウェアラブルコンピュータ、ヒューマンインタフェースの分野の

学会のリストなどが付録として掲載されている。本書籍は、著者が自身の担当する授業の中でファッションやインタフェースデザインといった面で議論されているウェアラブルコンピュータの書籍がなく、文献紹介ができないことを機に書籍としてまとめたという経緯から、付録が大変充実して、自作してみたい学生などには便利な教材となる。

2.2 内容

Theoretical Discoursedの章では、はじめに、Fashionable Technology をデザイン、ファッション、科学と技術の横断領域であると定義している。そこで表現される衣服は、機能性を重視したファッションアイテムと表現性を重視したファッションアイテムとが存在し、いずれもFashionable Technologyであるが、そのデザインや求められる仕様などは大きく異なると言っている。Fashionable Technologyの定義の後で実際の技術の要素として入出力機能を持つセンサーの分類、機能性を持つテキスタイルの素材についての解説をしている。最後にファッションデザイナーとエンジニアの使うデザインという言葉の背景の違いなど、横断領域での研究開発での言語の違いに言及し、どちらの言語も共有できる人材の開発の必要性などを言及している。以下の章ではそれぞれのカテゴリーに分類した作品を多くの写真を掲載しまとめている。

3. まとめ

これまでのウェアラブルコンピュータは装着できるコンピュータという概念から作り上げられる物が多く見られたが、コンピュータの小型化や布素材とエレクトロニクスを融合させたe-textileの進化により、機能する衣服が今後発展する可能性が大きい。今回紹介した書籍の出版はこうした流れを感じさせるものである。ファッションが時代背景を敏感にとらえるのと同じように科学技術もまた時代の流れを敏感に感じとり、これまでにないのを創造し、人々の生活や価値観などを大きく変えてきた。このように、ファッションと技術は常に時代の流れや方向を敏感にとらえ、表現しているところが似ている。

*1: 東京大学先端科学技術研究センター

*1: Research Center for Advanced Science and Technology, the University of Tokyo

これまでも科学技術の発展により新しい素材が開発されることで、ファッションの表現が大きく変わってきたが、今後エレクトロニクスの分野で電子部品の小型化やフレキシブル化が進むことで、新しい服装表現が創造され、人々の想像を超えた機能を持つ衣服を作り出されることが期待できる。

参考文献

- [1] Sabine Seymour: Fashionable Technology, Springer Wien NewYork(2009).
- [2] 深井晃子：ファッションの世紀，平凡社（2005）.